2017年7月

社会医学系専門医制度

専攻医のお誘い

（文例）

＜専攻医のメリット＞

☆ 社会医学系の専門性を、体系的に高めていくことができます。

☆ 社会医学系において高めた専門性を、「専門医」として社会に示すことができます。

☆ 社会医学系の専門医師の全国のプロフェッショナルなネットワークに入り、継続的にキャリアを伸ばして行くことができます。

＜専攻医になると＞

○ ３年間の専攻医としての研修と専門医試験合格により、専門医となることができます。

○ 個別に、担当の指導医がメンターとしてつきます。

○ 研修プログラム管理委員会で個々の研修をレビューします。

○ 研修手帳に、経験・研修実績を記録していきます。

○ 実践経験レポートを作成します（規定に沿って５件以上）。

○ 関連学会での学会発表（筆頭者）、または論文発表（筆頭者）、または相当するもの（職務上学会発表等が困難な場合）１件以上を行います。

○ 副分野も経験できます。（行政・地域、環境・産業、医療の内、1つが主、他の２つが副）

○ 基本プログラムでは社会医学系の基本を学びます（7領域。講習会とｅラーニング）。

○ 年間登録料５千円／年

○ 得難い研修･経験の機会を得やすくなります（例：WHOｾﾐﾅｰで当協会枠確保等）。

○ ｅラーニング（年内開始予定）で各領域を学べます。

○ ニュースレター等を通じて社会医学系の会合開催や諸活動の情報が得られます。